



平成22 (2010) 年3月20日 (土) 発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹

<http://www.nakayama-clinic.jp>

## 私見 情報

総務 松井 正

昨年の11月、12月にたまたま行った先がそれなりに面白かったので、話の種のようなつもりで、書き留めます。

一つは石川県の能登半島のこと。その中程の位置にある“演劇堂”で仲代達也が「マクベス」を上演しているのを見に行ったので、それに伴う話。二つは、千葉県鴨川市にあるK病院に姉を見舞いに行き、見たことがべらぼうだったので、その話。

先ず、一つ目から。まことに不便な能登半島の中島町一現、七尾市に演劇堂を作るという仲代達也からの提案があった時、こんな不便な所へ人が演劇を観にきてくれるのか、誰も不安がっただろうな、と思いました。町おこしの一環として、たとえ仲代達也という著名な俳優のバックアップがあっても、4,200坪、27億円をかけるとなると“演劇の町 振興事業団”もひやひやものではなかったか。でも、95年の開館以来順調に観客が来て、この場合は成功。昨年の6月から11月までの「マクベス」のロングランは切符を手に入れるのが大変でした。我々仲間7人の日程調節があったためもあります。

この演劇堂のウリは舞台後壁が日本唯一の開閉式で外の向うに丘陵地、林が続いている。そこを馬と人間が動き回る。後壁が屋外につながる造りはおお町町の「一滴文庫」(人形劇場)の舞台もちょっと似ている、あそこは後壁全部がガラス面で、ガラスを通して、外の竹林がライトアップされ幻想的になる。

演劇堂と同じ、町おこしのもう一つが、能登空港、能登から外に出る人のためではなく、能登へ人を呼び寄せ、金を落とすとして帰って頂く、というコンセプトだそう。関連して3月11日、国内98番目の茨城空港がオープンしたがそのコンセプトは東京第3空港だそう。しかし、初めから危ぶまれている。

さて、能登空港はまれな搭乗率保証という地元自治体の制度(説明省略)があるが、結ばれているのは羽田空港とだけ、1日2便でした。但し、特記しておかねばならないのは、ここに併設して“日本航空高等学校石川”があり、さらに上級に日本航空大学校(航空工学科、整備科、操縦科など)があって、知る人ぞ知る、いい加減な大学へ行くよりはよほどましようです。地元の友達が言っていました。あそこの生徒さんは服装から態度までものすごくきちんとしているよ。

次、奥能登で一昨年の地震の後、建てた新築の家は小浜の住吉かいわいの、道路拡張による建て直しの家と実にそっくりです。形、色総て。誰かこれがいいんだと吹聴して回っている建築家か町並みコンサルタントいるんだな、と思いました。建築

助成金を貰うにはこうでないといけないのだそうです。もう一つ、石川県はこの半島だけで“道の駅”が12ヶ所あり、他には6ヶ所だけ。道の駅にはまっている私はそれを頼って車で半島を一周しました。ちなみに福井県は全部で8ヶ所のみ。

さて、二つ目はK病院のこと。東京駅から浜松を経由して2時間かけてくる専用バスがあります。外来の建物は大きな4階建。玄関を入ると真ん中に幅3メートルの階段、左右に上下のエスカレータが4階まで動いている。各階に10余科目の診察室があり、全階で約50科目ある。医師が200人ほど、看護師が900人以上、病棟のほうはもっとでっかく8階建て、8階にはデパート以上の食堂があって込んでいる。食堂から眺めると眼下に太平洋が広がり、海浜にヘリポートがある。

姉は78歳なのに外科系脊椎椎髄科で強く勧められて、12月中旬に手術をし2ヶ月入院したが、予後は良くない。先だって再び入院したが痛い痛いと言っている。こんなに個人病院がでっかくなるにはさぞかし苦心、苦労したろうな、と思いました。

## 成人式と写真 厨房 指輪 昌江

今年、次女が成人式を迎えました。2年前は長女が成人式、子供の成長の早さを感じます。きれいに着飾った娘の着物姿を見ていると、幼かった頃の事を思い出し、大きくなったなと思わず涙が出てきました。私の母も同じ思いだったろうと自分の成人の頃を思い出しました。

当時、私は東京で美容師をしていたので、家に帰らず、成人式に対しても、あまり重みを感じていませんでした。でも、母は、私が成人式をしていないのに着物を作ってくれました。やはり二度とない私の成人の日を母に見せてあげればよかった、それも親孝行の一つなんだと、今になって後悔しています。

そんなこともあり、私の晴れ姿を母に見せてあげられなかった代わりに、娘にはちゃんと成人式を祝ってやり、その姿を写真に撮って、併せて長女の着物姿もアルバムに収めて母にプレゼントしました。2年後は又、息子の成人式が待っていますが、ふだんはなかなか写真が撮れないので、何とか成人式を機会に家族と一緒に写真を撮ろうと今から楽しみにしています。

… … … … … … … … … … … … … … … …

《あとがき》 1) 当院、待合室のミニギャラリーはこれまでの田中教子さん(小浜市甲ヶ崎)のアクリル画に代わり、この3月から第51回、山崎久子さん(小浜市北塩屋)の油絵になりました。山崎さんはキャリアが長く、名古屋や京都でグループ展のほか、小浜では「ランディヌーボーの会」を作られ、市美展の常連です。2) 新型インフル予防のための院内でのマスク着用は3月から解除しました。ご協力ありがとうございました。